Rotary International District 2570

Governor's Monthly Letter

No.2 1st August 2010

地域を育み、大陸をつなぐ

8月は会員増強月間です。

ガバナー月信
2010年8月1日
第2号

ロータリーの魅力を知り
明るく・楽しい例会作りを

会員増強委員長　山口　茂

2010–2011 PRESIDENTIAL EMPHASES
2010－2011年度ＲＩ会長強調事項

レイ・クリンギンスミスＲＩ会長は、特に、ポリオ撲滅と青少年にかかわる活動が最優先であると述べた。これに加え、以下の6つの重点分野にも焦点を当てた。

2010－11年度国際ロータリー会長、レイ・クリンギンスミス氏ご夫妻

1 平和と紛争予防／紛争解決

・**ロータリー財団は、以下を通じて、平和と紛争予防／紛争解決の実践を推進します。**

①草の根の平和活動の充実
②地元リーダーを対象とした紛争の予防・仲裁に関する研修
③紛争の影響下にある地域における長期的な平和構築活動の支援
④紛争の影響を受けている社会的弱者の援助
⑤平和と紛争予防／紛争解決に関連する研究の支援

2 疾病予防と治療

・**ロータリー財団は、以下を通じて、疾病の原因と影響を減らします。**

①地元医療従事者の対応能力の改善
②ＨＩＶ／エイズ、マラリア、その他の主な疾病の蔓延予防
③地元地域社会の医療設備の充実
④主な疾病の蔓延予防を目的とした地域社会の教育と動員
⑤疾病の予防と治療に関連する研究の支援

地域を育み、大陸をつなぐ

3 水と衛生設備

・ロータリー財団は、以下を通じて、人々が水と衛生設備を末永く利用できるようにします。

①安全な飲み水と基本的な衛生設備を地域社会の人々が公平に利用できるようにすること
②持続可能な水と衛生システムを開発し、これを維持していく地域社会の能力の向上
③安全な水、公衆衛生、衛生管理に関する地域社会の人々の教育
④水と衛生設備に関連する研究の支援

4 母子の健康

・ロータリー財団は、以下を通じて、母子の生活を改善します。

①5歳未満の子どもの死亡率の削減
②妊婦死亡率の削減
③母子のための基本的医療サービスと研修を受けた医療従事者の利用の改善
④母子の健康に関連する研究の支援

5 基本的教育と識字率向上

・ロータリー財団は、以下を通じて、教育と識字を推進します。

①子どもたちが質の高い基本的教育を受けられるようにすること
②教育における性別格差の減少
③成人の識字率の向上
④基本的教育と識字率向上を支援する地域社会の能力向上
⑤基本的教育と識字率向上に関連する研究の支援

6 経済と地域社会の発展

・ロータリー財団は、以下を通じて、人材投資をし、人々や地域社会を実質的かつ永続的に改善する経済環境を作ります。

①地域社会における、地元起業家や地域社会のリーダー（特に女性）の育成の強化
②特に若者のために、相応かつ生産性の高い職に就くための雇用機会の開発
③経済的発展を支援するため、地元団体や地域社会ネットワークの能力開発
④経済と地域社会の発展に関連する研究の支援

レイ・クリンギンスミス
2010－11年度国際ロータリー会長

『ロータリーの友情』

ガバナー　**西川　武重郎**

月信7月号の原稿を書きあげたら、直ぐに8月号の原稿依頼がきました。まるで売れっ子作家になった気がします。

8月は会員増強・拡大月間です。

2570地区は各クラブの会員純増目標合計の120名の純増目標数を国際ロータリー本部に報告しました。新しい120名の仲間との絆が増えることを切に願うものであります。

ロータリーの創設者、ポールハリスは「絶望的に寂しかった（desperately lonely）」思いから抜け出すために友情を大切にする団体、ロータリークラブを創りました。

しかし、現在、ロータリーは経済的な理由や人間関係のトラブル等から会員の減少という大きな問題に直面しています。

このような時こそ、私達ロータリーの原点である「ロータリーの心」とは何かを考える必要があると思うのです。

7月6日、上田埼玉県知事へ表敬訪問
左から、大野地区幹事、西川ガバナー、上田埼玉県知事

ポールハリスの回顧録『My Road to Rotary(私のロータリーへの道)』には、

> 「ロータリーがより寛容でより他の人の良さを認め、より他の人と親しく交わり助け合うようにしてくれるなら、そして人生の美しさと喜びを発散し伝えるようにしてくれるなら、我々が求めるロータリーのすべてである。それ以上ロータリーに何を求めることがあろうか」

と書かれています。ロータリーは温かい友情が基本だと思います。

私は多くの温かい友情に支えられて今日まで来ました。そして、今でもロータリーの中にポールハリスの願いである「ロータリーの友情」が生き続けていることを体得しました。この事が実感できれば、ロータリーを退会しようというような思いは起こらないはずです。

私達はもう一度基本に帰って「ロータリーの友情」の素晴らしさ、そして「ロータリーの心」である、人のために奉仕をすることの素晴らしさを多くの人に伝えていきたいと思います。そうすることがロータリーの会員増強拡大につながると思うのです。

↑ 1月、国際協議会

7月10日、諮問委員会 ↓

明るく・楽しい例会作りを

会員増強委員長　**山口　茂**（熊谷南）

本年、6月5日に各ロータリークラブ会長・会員増強委員長出席の下、2570地区・第1回会員増強セミナーを開催致しました。

先立つ3月6日には、横浜において全国会員増強セミナーが開催され、「世界の会員数は増えているにもかかわらず、日本は年々右肩下がりで会員が減少し、ストップがかからない状態で推移している」との説明がありました。

その原因の一つに、日本のロータリアンには、ロータリーの理念・本質を知らない一部の会員もおり、全体的な資質の低下、そしてそれが退会に結びついているのではないか、といった問題提起もなされました。

「ロータリーの魅力を知ってもらう」事がとても大切であり、ロータリーの理念・本質が浸透すれば、新会員の入会、そして会員の維持につながっていきます。

地区もしくはクラブ内で、ロータリーを知る方法が必要でもあります。そして新クラブ結成より、消滅させないクラブ維持。小クラブに温かい支援を、合併をしない努力を!!

自然に任せておくと会員減少になり、自クラブの活性化のためにも新会員の入会を。各クラブ会長は、自年度で1名の純増を努力目標として数字を発表してクラブ内にアナウンスしますと、必ずクラブ内に意識が出て会員純増に結びついてきます。

女性会員が入会しても、男性会員・女性会員として考えるのではなく、同じロータリアンとして受け止めるべきでしょう。

ロータリーが進む方向と方法は!!

今我々は出発点にあります。当初4人からスタートしたロータリーは、世界で120万人にまで拡大しました。

明るく・楽しい・タメになる・活気ある・元気の出るクラブ例会作りが、会員増強となり、会員維持につながると考えます。貴クラブの将来のために、地区として支援を少しでもできれば幸いです。

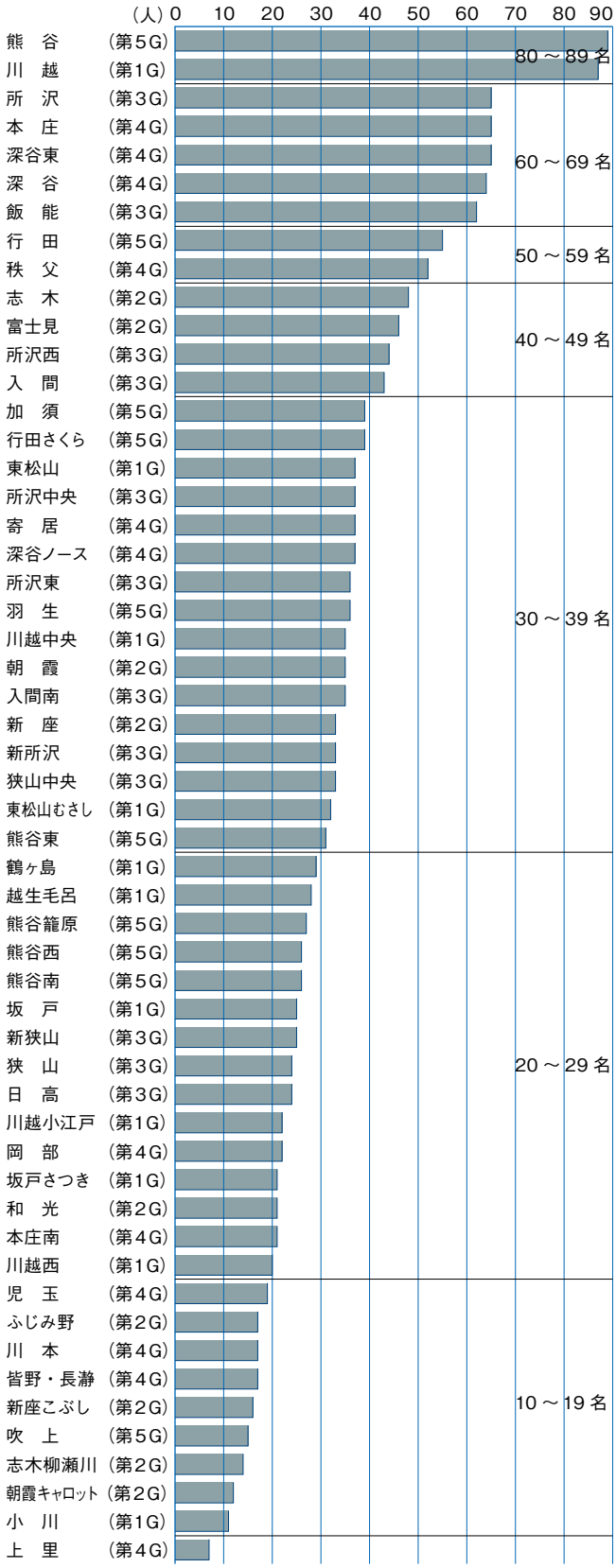
2570地区今年度活動方針

1、会員増強セミナー２回開催
2、各クラブでの純増　1名
3、女性会員の純増
4、会長会（第1G～５G)に出前研修（ガバナー補佐に協力依頼）
5、新入会員を伴った、他クラブへのメイクアップの奨励
6、要望あれば、30名以下クラブに出向セミナー開催
7、会員増強年次計画書、作成支援協力

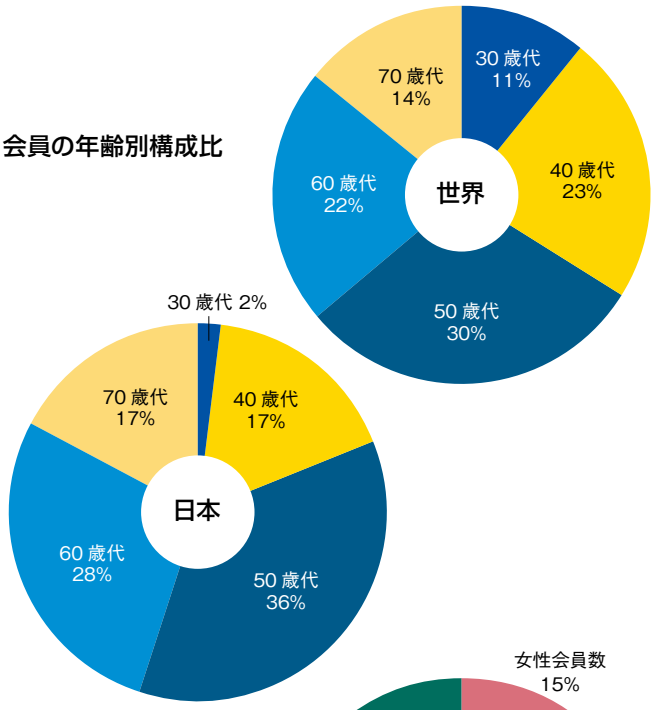
日本と 2570 地区・会員数の推移

	会員数			クラブ数		
	日　本	2570 地区	比率	日　本	2570 地区	比率
1996 年6月末	131,477	2,836	2.16%	2,208	54	2.45 %
2005 年6月末	103,276	2,075	2.01%	2,328	56	2.41 %
2009 年6月末	91,592	1,856	2.03%	2,302	54	2.35 %

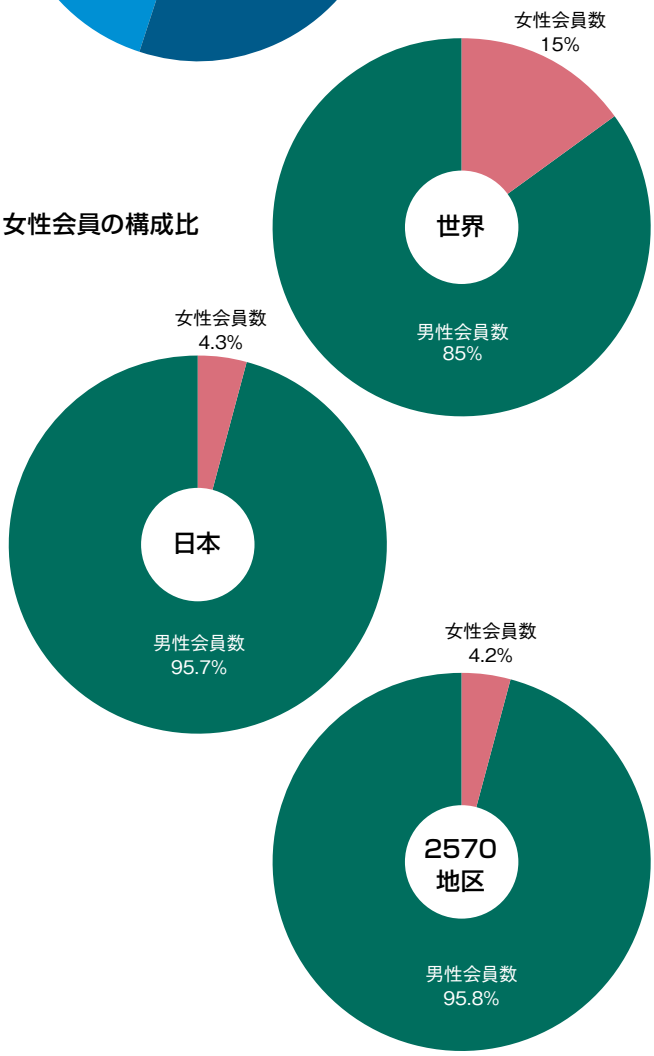
2570 地区・ロータリークラブ会員数（2009 年 7 月現在）



会員の年齢別構成比



女性会員の構成比



■国際ロータリー年次大会出席

未来へ飛翔せよ！

モントリオール世界大会から

ON TO モントリオール委員長　**茂木　正**（本庄）

去る6月17日から23日までの期間ロータリークラブ世界大会に参加すべく、2570地区34名の団員でカナダのモントリオールに行ってまいりました。

成田から最初の目的地であるトロントまで12時間の飛行時間は、我々の思いを乗せ、長い飛行時間も一飛びでした。長い機内の時間もよい仲間との時は、長旅の疲れを忘れさせてくれるものでした。

今から35年前、私は南スペインのコリアデルリオと言う小さな町に降り立っていました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、その町こそ今から400年の昔、仙台藩の伊達政宗の命により派遣された支倉常長一行31名が欧州に上陸した最初の第一歩の町でした。約3年の滞在期間中、一行は時のスペイン国王フエリッペ3世に謁見したり、ローマに出向いてパウロ５世に逢ったりしています。彼等は約３年の滞在の後、同じ町からまた乗船していますが、帰国に際して一行の内五人の侍が彼の地に残りました。残留の理由は知る由もありませんが、二度と故郷の地を踏むことができないことは覚悟していたことでしょう。日本に残した家族を思う時どんな想いが彼らの心に去来したことでしょうか。

目的地に辿り着くのに一年以上も費やした命懸けの彼等の旅と、たった十数時間で彼等と同じぐらいの距離を安全に移動してしまう現在の旅とでは、その意気込みや達成感はずい分と違ったものがあるでしょう。

左から、宮原克平（志木 RC）、メキシコ 4130 地区･リカルド青少年交換委員長、中川正明（東松山 RC）

2010年度のモントリオール世界大会は開催国カナダのホスピタリティーと、ジョン・ケニーＲＩ会長の世界に発信する強い思いが込められ、その天候さえもが素晴らしいものになりました。緑豊かな落ち着いた中世ヨーロッパを思わせる町並みがロータリー一色に彩られました。同じ時期そう遠くないニューヨークで開催された世界会議が、それぞれの問題を解決し道を探るものだとしたら、我々のロータリークラブ世界大会は、同じ想いで心一つにして集おうとするものです。同じ集まりでもきっとその雰囲気は全く違ったものがあったことでしょう。

加藤玄静ガバナーは、『今を大事に』を掲げられて活動されましたが、今この一瞬を大切にするという想いが未来を創ることに繋がります。

因みに400年前にスペインの小さな町で人生を全うした五人の侍の誇りと想いは、今日現地で830名余りの侍の子孫たちに脈々と受け継がれています。民族、宗教、思想、言語を超えて全世界のロータリアンの想いを結実させ、未来への在り方を示してくれる素晴らしい世界大会への参加が次の時代を切り開き、想いを繋げてくれることでしょう。

最後に加藤玄静ガバナー、高橋パストガバナー、西川ガバナーエレクト、真下地区幹事、志木RCの名畑会長団長、本庄RCの田中会長、狩野団長を初めとする参加頂きました多くのメンバー皆様に心からの御礼を申し上げ、次年度の内田栄信ON TO ニューオーリンズ委員長にこの想いを繋ぎます。

編集部注：加藤ガバナー年度の報告ですので、肩書は当時のものとしました。
写真撮影：宮原克平（志木 RC）

■研修委員会報告

研修は会員の積極的な発言が支え

研修リーダー　**真下　和男**（東松山）

6月21日、第２回地区研修委員会が全員出席のもとに、川越プリンスホテルにて開催されました。今回は第１回に計画した５グループのガバナー補佐立会いのもと、各グループごとの会長・幹事会に合わせ、出前研修をした実施報告と今後の行動計画の打合せを行いました。

ＲＩはロータリアンの研修に力を入れる必要性を痛感し、西川ガバナーも同様の考えを持っておられるので、我々地区研修委員会は各クラブに研修委員の選出をお願いし、意欲的に取り組んできたところです。今後の具体的活動計画については栗山昇委員長の報告によるものとし、私からは基本的な考え方を述べたいと思います。

RLIを日本ロータリーに合わせるのは如何にすべきか

1. RLI(Rotary Leadership Institute)に力を入れているＲＩの方針に基づいてその手法を研究、実践に努め、各クラブの研修委員にその普及を図ります。

2. RLIの手法は米国サンディエゴにおけるガバナーエレクト教育手法の効果を、各地区・各クラブに普及させようとするので、私の経験からしてその手法は大変有益なものと思います。その反面、RLIは全世界に共通の方法によるもので、必ずしも日本の実情を把握していないのではないかと思われる点があるのも事実です。

従来の研修はＲＩの方針を伝えたり、ロータリーの原理原則を紹介し、解説し、活動に効果を挙げようとするものです。勿論、その重要性を強く認識する必要もありますが、併せて日本の地区活動、各クラブのロータリーの現状、問題点等を洗い出し、時代の変化に対応したロータリー活動を展開するのが重要だと思います。

RLIの優れた技法を駆使して、会員の発言の機会を積極的に求め、その声をクラブ活動や地区活動に反映させるのが大切と思います。活発な意見は時には批判となり、自らに唾を吐きつけるような事態も起こりかねません。ロータリーに前向きな取り組みになるようにとり運ぶ必要があろうと思います。

■研修委員会報告

地区研修委員会の責務と役割

地区研修委員長　**栗山　昇**（朝霞）

ロータリー章典第17条第３節第３項に「地区研修委員会は、ガバナー及びガバナーエレクトを補佐してクラブや地区指導者の研修に当たる責任がある」と規定されております。

又、2010年規定審議会において、新入ロータリークラブ会員（３年未満）を対象に研修セミナーの実施をガバナーに推奨することを検討するよう、ＲＩ理事会に要請する件の決議案が採択されました。この理由として

「近年、多くのクラブで、クラブの会員教育能力や指導力の低下、会員増強の早急化等で、新入会員に対し、入会前後の教育が行われていない。その結果、少なからぬ新入会員は、ロータリーに対する基本的な知識、理解が乏しく、クラブへの愛着、例会出席への意欲が感じられない。〈中略〉国際ロータリー理事会は、地区研修セミナーにより新入会員の資質が向上し、クラブ例会の活性化に貢献し、会員増強へと結びつく」

とその理由を明示されました。

研修方法については、地区指導型からクラブ研修リーダー（西川年度より導入）をＤＬ（ディスカッションリーダー）として活用するクラブ主体型研修に重点を置きたいと考えております。加藤年度の浅田直前研修委員長の下に実施（３年未満の研修会）されましたロータリー・リーダーシップ・研究会（RLI）の活用も参考にしたいと考えております。

当委員会としての具体的な責務として、下記の企画をしております。

1．新年度を迎える会長・幹事を対象とした各グループ別出前研修会の開催（５月から６月にわたり５回開催された）

研修テーマ

1・ロータリーの基礎知識の理解

2・2010年規定審議会採択重要制定案の紹介

3・2001年・2004年・2007年規定審議会での変更・制定案について問答方式により紹介

4・クラブ運営、特に例会に関する質疑応答

2．クラブ研修リーダーを対象としたグループ合同研修会の開催（8月7日（土）、東松山市・紫雲閣において開催予定）

研修テーマ

1・クラブ研修リーダーとしての役割と責務

2・ガバナー補佐を交えての意見交換

3．入会３年～５年未満の会員を対象とした各グループ別研修会の開催（10月から11月にわたり開催予定）

研修テーマ

1・ロータリーの基礎知識を学ぼう

2・ガバナー補佐を交えての意見交換

4．地区指導者研修セミナーの開催

（地区大会1日目、2011年４月２日開催予定）

第一グループ研修会報告

研修委員

野原　正次郎（川越西）

去る５月22日（土）国際婦人会館において、第一回会長幹事会の終了後時間をいただき研修会を開催しました。会長・幹事会では11クラブ全員が出席、金子圭典ガバナー補佐の年度方針、ガバナー公式訪問・補佐訪問等の説明後、研修会に入りました。栗山研修委員長の研修委員会の意義及び方針の説明の後、ＲＩの規定審議会による重要事項の変更等については資料と共にスライドにて説明致しました。その他会長・幹事として運営上これだけは知ってほしい内容をQ&Aで少し考えて頂きました。例会・理事会・クラブ協議会等・ロータリーの会合の性格、新世代の五大奉仕への変更、85歳出席免除の変更等、定款・細則の変更ができるクラブは、例会において重要事項として説明するようお願い致しました。

第二グループ研修会報告

研修委員
栗山　昇（朝霞）

5月19日ガバナーエレクト事務所で、会長幹事会終了後、約1時間30分、西川ガバナーエレクト（当時）、大野次年度幹事（当時）次年度会長、幹事、クラブ研修リーダー総勢22名が出席し開催されました。ペッツ、地区協議会では研修に与えられた時間は限定的であったため十分な研修もできなかったので、初めての試みとして、クラブ運営をするうえで、必要最低限の規定、ロータリー情報等中心テーマに事前出前研修を行いました。本年度は、2010年規定審議会で改正された制定案に基づき運営する必要があり、それに必要な採択された重要制定案について、パワーポイントでプロジェクターを使用し解説、また、2001年、2004年、2007年規定審議会で改正された主な制定案を中心に「いろは問答」形式で研修しました。膝を交えてのグループ研修で成果があったものと確信しております。

第三グループ研修会報告

研修委員
小久保　富夫（新狭山）

5月15日（土）所沢セレスにて、第1回会長幹事会終了後、12RC全員出席にて、出前研修会が開催されました。

栗山委員長から、「クラブ運営について知っておきたいロータリー情報」と題した研修が行われ、「ロータリーの目指す奉仕とは」、「国際ロータリー定款・細則、標準クラブ定款とは何か」、「国際奉仕の基本方針とは何か」、「2010年規定審議会採択重要案件」など19の項目について詳しく説明がありました。最後の質疑応答では2010年規定審議会採択重要案件について特に関心があり、皆、熱心に「良い勉強になりました」との声が多くありました。

今後の3年未満の研修会も近くで今回のようにグループごとに行うことによって、出席率も良くなり、ロータリーについて少しでも理解できる研修会になると思われます。

第四グループ研修会報告

研修委員
武田　哲（深谷東）

第4グループでは、5月29日（土）、本庄市の早稲田リサーチパークコミュニティセンターでの年度前会長幹事会で、出前のグループ別研修会を開催しました。

2時からの高柳ガバナー補佐、12クラブの会長幹事、そして本庄クラブの茂木補佐付の会長幹事会に、栗山委員長、武田が参加し、研修は協議の後の3時から5時までの2時間にわたりみっちり行われました。

栗山委員長の用意したパワーポイントを武田が読み上げ委員長が細かく解説し、「ロータリーの目指す奉仕とは」、「例会でのルール」等20のポイントを説明し、その後委員長が問答の形でより具体的な解説をしましたが、1年間のクラブ運営に役立つロータリーの基本の考え方の研修となったと思います。

第五グループ研修会報告

研修委員
諸貫　健一（行田）

第5グループの出前研修は、会長、幹事会に相乗りする事に、澤田ガバナー補佐と第5G担当の私、諸貫地区研修委員の話し合いで決まりました。熊谷南クラブは私の旧知が数名いて、その中に澤田さんがいた事は私の任務を遂行するのに大変なラッキーでした。段取りは一回の相談でまとまり、滞りなく実行されました。なお当日11時より現地で南クラブ会長と3人で打ち合わせ、会場、備品のチェック完了。

15時からは栗山委員長の研修が始まり、16時30分に閉会致しました。地区5グループの出前研修会を見て来た栗山さんは他グループ同様、第5Gの研修会も大変良かったとご機嫌でした。なお、当日の参加費は1クラブ3,000円でした。欠席者1名。

「クラブ研修リーダー」の役割（クラブ会長要覧より）

○ クラブ理事会と委員会、ガバナー補佐、地区研修委員会、地区ガバナーから、意見や提案を求め、支援を得るべきである。
クラブの研修計画(担当クラブ研修リーダー)には、以下の点を盛り込むようにします。

1. クラブ指導者（会長・副会長・幹事・各委員長等）が、地区研修会合に出席することを要請する。
2. 新会員のための一貫したオリエンテーションを定期的に実施する。
3. 現会員のために継続的教育の機会を提供する。
4. 全会員が指導力育成プログラムを受けられるようにする。

なお、地区からの部門研修会をはじめ地区主催の研修会開催通知の宛名につきましては、会長・クラブ研修リーダー宛に発信しておりますが、研修会の出席要請者としての発信ではありません。各研修会の出席予定者は、「研修会開催通知文」の中で、記載されておりますので、その該当者のみの出席要請となりますので、御理解賜りたくお願い申し上げます。各クラブの研修リーダーは、右記の通りです。

2010年規定審議会・主な採択制定案（世界全クラブ定款変更）

1. 地区に二つのE-クラブ（電脳ロータリークラブ）を認める。
   E-クラブとは、2001年規定審議会でサイバーロータリークラブ試験的プロジェクトとして認可し2002年1月にスタート。世界で75クラブまで承認（日本なし）。その後、「ロータリーE-クラブ試験的プロジェクト」と名称変更した。
   会員は、世界中から入会可能。入会手続は厳しく3名の紹介者が必要。
   2007年8月末現在世界中で28クラブある。
2. 直前会長をクラブ役員とする。
   （会長・直前会長・会長エレクト・1名または数名の副会長・幹事・会計・会場監督）
3. 理事会の承認する条件と事情による欠席の場合、理事会は、欠席を認める権限を持つが、この出席規定適用免除は、最長12カ月間までとする。
4. 85年規定の出席免除に65歳以上の条件が加わった。
5. 出席記録の算出に出席免除会員（85年規定適用者・現役のＲＩ役員）の出席を含める。
6. 会員身分の終結条件に「ロータリークラブ会員として持つべき高い倫理基準」が加わった。
7. 四大奉仕部門の「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、「国際奉仕」に「新世代奉仕」が加わり、五大奉仕部門になった。
8. 人頭分担金が増額になった。（半期分）
   2011−2012年度　25.5ドル　（年間51ドル）
   2012−2013年度　26ドル　（年間52ドル）
   2013−2014年度　26.5ドル　（年間53ドル）
   ☆追加会費（規定審議会運営資金）変更なし
   上半期のみ1ドルを支払う。但し、会員が10名未満のクラブは、10名分（10ドル）支払う。

2010年規定審議会・主な採択決議案

1. 新入会員（3年未満）を対象に研修セミナーの実施を推奨。
2. ＲＩの第二の標語を「One profits most who serves best（最もよく奉仕する者、最も多く報いられる）」とする。「He」→「They」→「One」に改正。
3. クラブに研修・リーダーシップ委員会を設置。
4. クラブの広報活動を地区と地区広報委員会が支援する。
5. 「社会奉仕に関する1923年の声明」の第一項を、奉仕の哲学の定義として使用することを検討するようＲＩ理事会に要請する。

クラブ研修リーダー

（敬称略）

第1グループ	
川越	梶川　昭一
東松山	江野　祐一郎
小川	片桐　義雄
坂戸	木藤　文雄
越生毛呂	藤島　弘士
川越小江戸	福山　健朗
川越西	宮根　健治
鶴ヶ島	中田　洋
川越中央	福島　静雄
坂戸さつき	梅澤　特明
東松山むさし	永野　英吉
第2グループ	
朝霞	田原　一郎
ふじみ野	西山　晴雄
志木	大野　栄治
富士見	酒本　俊司
新座	岡本　比呂志
和光	大澤　衛
朝霞キャロット	福山　敏男
志木柳瀬川	深澤　隆之
新座こぶし	山田　一郎
第3グループ	
入間	繁田　昌利
所沢	山田　和義
飯能	平沼　雅義
狭山	田島　彰
新所沢	目黒　誠
日高	高木　泰文
所沢西	渡部　照夫
新狭山	東喜　代雄
所沢東	武藤　正
入間南	遠藤　好一
所沢中央	町田　正綱
狭山中央	小幡　直樹
第4グループ	
深谷	滝沢　常昭
本庄	岡崎　正六
秩父	長谷川　茂
寄居	浅見　克一
児玉	吉田　英一
岡部	木村　満
深谷東	栗原　敏朗
上里	松本　寛
川本	杉浦　毅
皆野・長瀞	山田　利明（※）
本庄南	浅田　進
深谷ノース	梅澤　茂
第5グループ	
熊谷	上林　寛
行田	内山　俊夫
羽生	高橋　実
加須	梅澤　三男
熊谷西	古屋　一生
行田さくら	新井　啓介
熊谷東	清水　利夫
吹上	馬橋　亟男
熊谷籠原	田原　敏行
熊谷南	棚澤　正行

（※）2009-10 会長が対応

■第1回地区役員合同会議報告

平成22年7月10日（土）13時30分から、新座市のベルセゾンにおいて星野博之副幹事司会のもと年度始地区役員合同会議が開催されました。第1部では、人事の発表紹介・表彰などが行われました。15時過ぎから始まった第2部では、各委員長から年度方針が発表されました。各委員長発表のポイントは次の通りです。

栗山昇・地区研修委員会委員長:

研修を通じて地区に合った「ロータリー」を学んでいきたい。

井花富男・クラブ奉仕部門委員長:

会員増強：1900名目標、各クラブ純増2名目標。

広報・記録：対外広報の増強

橋本正彦・職業奉仕部門委員長:

職業分類表の作成、未充填分類を埋める。高校生の社会体験学習は継続する。

西澤孝夫・社会奉仕部門委員長:

寄付ばかりではなく汗を流そう。単年度型・地域密着型が望ましい。

野中弘之・国際奉仕部門担当諮問委員（茂木委員長の代理）**:**

国際奉仕とは、異なる国同士が協調して奉仕することである。

野口健吉・新世代部門委員長:

インターアクト1校追加予定。ローターアクトは、２校追加予定。青少年交換は、最低でも各ブロックから1名の派遣を目指したい。ライラは予算不足もあるが何とか活性化したい。

小池貞作・ロータリー財団部門委員長:

教育プログラム３名派遣中。GSEは４名ないし５名受け入れ予定。ポリオ撲滅に注目。加藤年度寄付金額は194米ドル/会員。

大澤衛・米山小学部門委員長:

今年度目標3500万円（@18,900円・会員）目標。25名程度の奨学生を受け入れたい。

浅田進・ロータリーの友地区代表委員:

組織が法人成りしたことに伴い、「地区代表委員」と名称変更。ゾーンコーディネーターは全国に３名いるが加藤直前ガバナーはその一人。

神山昌之・地区大会実行委員長:

2011年４月２日川越プリンスホテル、同３日は志木市民会館にて地区大会を実行する予定。骨子は10月ごろに報告する予定。会員減少による予算減額の影響を少しでも克服したい。

ついで、ガバナー事務所からのお願いが大野栄治地区幹事から報告されました。

①名簿の取り扱いには特別の配慮願いたい。

②本日配布の名札を自主管理願いたい。

③諸費用精算は20日締め切り、月末払いで了承願いたい。

④出欠通知の返答は期日内対応を励行願いたい。

⑤メイクアップカード提出不要、自己申告で可とする。

第２部のあと、第３部懇親会が高野邦夫副幹事司会のもと開催され、好意と友情を深めて西川年度の成功を祈念し、無事終了しました。

■第1回諮問委員会開催

7月10日（土）10時30分から、新座市のベルセゾンにて西川ガバナー年度の第一回目の諮問委員会が開催されました。

編集部注

諮問委員会は、パストガバナー全員が参加することを義務付けられており、全ての事柄について決定責任を持つガバナーが、不測の事態が生じたときに意見を求めるのが「諮問委員会」です。国際協議会後に、諮問委員会を招集するよう求められています。

8・9月のスケジュール

8月		
1	日	国際奉仕部門セミナー　東松山「紫雲閣」
3	火	公式訪問（深谷RC・岡部RC・深谷ノースRC）
4	火	公式訪問（熊谷東RC）
5	木	公式訪問（坂戸RC・坂戸さつきRC）
7	土	クラブ研修リーダーセミナー
9	月	公式訪問（熊谷西RC）
10	火	公式訪問（所沢RC）
14	土	米山奨学生秩父音頭祭り参加　皆野町（西武秩父駅集合）
15	日	〃
19	木	公式訪問（本庄RC）
23	月	公式訪問（川越中央RC）
24	火	公式訪問（所沢西RC）
25	水	公式訪問（飯能RC）
27	金	公式訪問（和光RC）
30	月	公式訪問（新狭山RC）
31	火	公式訪問（秩父RC）

9月		
1	水	公式訪問（ふじみ野）
4	土	R財団奨学生、第１回オリエンテーション
6	月	公式訪問（朝霞キャロットRC）
7	火	公式訪問（羽生RC）
8	水	公式訪問（寄居RC）　GETS
9	木	公式訪問（新座RC）　GETS
11	土	ロータリー財団部門セミナー 嵐山「国立女性教育会館」
		米山奨学生研修旅行 米山梅吉記念館ほか
12	日	〃
13	月	公式訪問（本庄南RC）
14	火	公式訪問（新所沢RC）
17	金	公式訪問（狭山RC）
21	火	公式訪問（越生毛呂RC）
22	水	公式訪問（加須RC）
27	月	公式訪問（所沢中央RC）
28	火	公式訪問（行田さくらRC）
30	木	公式訪問（皆野長瀞RC）

GETS= ガバナー・エレクト・トレーニング・セミナー

編集部から

2570地区を貫く鎌倉街道を話題にすることが、会員相互の親睦の一つのきっかけになることを期待して、貴重な1ページを拝借することにしました。志木市には無縁だと思っていた鎌倉街道ですが、志木市にもあることがわかりました。志木市幸町の通称「へびやま」（志木第二小学校周辺）に鎌倉街道の看板があることを教えていただいたり、富士見市水谷の日蓮宗「性蓮寺」の裏山にも、鎌倉街道の看板があることを知りました。この二つの看板を直線でつなぐと、所沢を上流とする「柳瀬川」と交差します。

この２か所が直接つながっていたとすれば、柳瀬川を渡る手段は橋だったのか、それとも渡し船だったのだろうか、考えるだけでも気持ちがウキウキしてきます。鎌倉を往復する武将たちや商人たちの姿が柳瀬川のたもとに見えてくるような気がします。

私たちは、次の宿場、次の鎌倉街道看板を求めて12回にわたってこの連載記事を続けていきたいと思っています。毎号お楽しみいただけるよう各地のロータリアンから鎌倉街道にまつわるさまざまな情報をいただければ大変幸甚です。

■ お詫びと訂正　（月信７月号に誤りがありました。大変失礼致しました。）

- ７月号４ページ５行目
  川越藩主になった 1939 年→ 1639 年
- 16 ページ２行目
  所沢 RC →所沢中央 RC

文庫通信（274号）【ロータリー文庫】

■ 開館　午前10 時～午後5 時
■ 休館　土・日・祝祭日

ガバナー月信より

◎「2010年規定審議会報告」……佐藤　秀雄……D.2510〔2010〕3P
野々村　政昭……D.2800〔2010〕3P
安平　和彦……D.2680〔2010〕2P
◎「職業奉仕とは」……久邇　邦昭……D.2750〔2010〕2P
◎「国際奉仕をやっているクラブの方が会員減少が少ないのだ！」……D.2720〔2010〕2P
◎「重要な変更のお知らせ－1・2（ロータリー財団寄付に関して）」……D.2840〔2010〕2P
◎「第15回ロータリー日本青少年交換研究会報告書―1・2・3」……峯岸　則幸……D.2840〔2010〕3P
◎「国際ロータリー青少年交換の近況」……中村　盟……D.2630〔2010〕2P
◎「ロータリー簡単図解その４～7〈ロータリー・ロータリークラブとは？/ロータリーとは？綱領/決議23-34から決議92-286/社会奉仕を考える〉」……鈴木　章夫……D.2520〔2009、2010〕4P
◎「入りて学び　出でて奉仕せよ」……村上　有司……D.2640〔2010〕7P

〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３階
TEL：(03)3433－6456　FAX：(03)3459－7506　ホームページ：http://www.rotary-bunko.gr.jp/

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

［申込先：ロータリー文庫（コピー /PDF）］

ハイライトよねやま

ハイライトよねやま

㈶ロータリー米山記念奨学会の最新ニュースをお届けするページです。

7月12日発行の125号は、「2009-10年度寄付金結果」、「新年度を迎えて坂下事務局長からのメッセージ」のほか、学友関連のニュース（米山学友のJisongさんが初アルバムをリリース、中国青海省地震の被災学友からメッセージ）を掲載しています。ぜひご覧ください。

ホームページからPDF文書がダウンロードできます。

TEL：(03)3434－8681
FAX：(03)3578－8281
ホームページ：
http://www.rotary-yoneyama.or.jp/

「財団法人ロータリー米山記念奨学会」は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間最大の奨学財団です。

鎌倉街道が繋ぐ2570地区の「和」

第2回 所沢

第1回で概観した「幻の道」鎌倉街道の物語は、所沢を皮切りに各地を点描しながら本庄方面へと北西へ歩みを進めていきます。さて、鎌倉街道は、西武新宿線「東村山駅」方面から線路の西側を通り所沢市内へと入り、西武新宿線と並行しながら狭山市駅へと続きます。西川ガバナーの公式訪問は8月10日(火)所沢RC、8月24日(火)所沢西RC、9月14日(火)新所沢RC、9月27日(月)所沢中央RCの予定です。

東村山方面から所沢に入って来るルートはいくつかあったようです。

西武園から山口小学校脇を通り、小手指原古戦場跡を経て狭山、入間に抜けるコース、八国山公園の将軍塚あたりから南小学校へ至るコース、二瀬橋から長久寺脇を通って南小へ至るコースなどです。

←八国山公園の将軍塚
新田義貞が鎌倉攻略の際に布陣したとされる所
↓長久寺(写真右隅に鎌倉街道案内碑)

下左:県道4号線「金山町」信号付近にある「弘法の三つ井戸」跡
下:狭山市との市境付近の堀兼道跡

↑「三つ井戸」碑

小手指原古戦場は、新田義貞が率いた関東軍と鎌倉幕府軍との戦いの場で、鎌倉幕府が滅亡へと向かったエポックメーキング的な戦場でした。このコースは、小手指から北の方は確認されておりませんが、鎌倉時代には重要な街道であったようです。

山口小学校はかつての山口城跡地で、平安中期に時の政府が群盗鎮圧のために派遣した国司が活躍したお城です。実はこの時期の群盗討伐勲功者が武士の初期原型となっていったのです。

長久寺(所沢市久米411)山門前には「旧鎌倉街道」の標識があります。先程の新田義貞にまつわる話は鎌倉時代末期の話ですが、長久寺の宗派は一遍上人が開祖の「時宗」で、貴族文化の知性であった仏教を、一遍上人が広く民衆に広めた時代が鎌倉時代でした。鎌倉街道沿いにはこの「時宗」を宗派とするお寺が数多くあります。

「鎌倉街道上道」の枝道ではありますが、県道6号沿いの所沢中学校あたりから北上し、新狭山駅方面へ続く「堀兼道」があり、信号「ネオポリス西」から南狭山変電所の辺までは、今にその名残をとどめています。

このように、所沢市内には、鎌倉時代にまつわる重要な史跡がたくさんあります。国道463号「金山町」信号から北へ5～60m行った左側には「弘法の三つ井戸」の碑があり、鎌倉時代以前から、所沢市内には時の中央から東国への街道があったことがうかがえます。

小手指原(こてさしがわら)**古戦場**
新田義貞軍vs鎌倉幕府との戦いの場
新田　義貞(にった　よしさだ)
鎌倉末期・南北朝時代の武将。
弘法大師(こうぼうだいし)＝**空海**
平安時代初期の僧。日本真言宗の開祖。

ガバナー月信　第2号
2010年8月1日発行
今月の表紙:会員増強委員長
山口　茂(深谷南)

国際ロータリー第2570地区　2010−2011年度ガバナー　西川　武重郎
ガバナー事務所
〒353-0004　埼玉県志木市本町5丁目20番12号 サンシャイン志木1F
TEL (048)485−3883　E-mail＝info2010@mail.rid2570.gr.jp
FAX (048)485−3855　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2010/